

自然ふれあい講座(セミぬけがらを探せ!2022) 実施報告

Report

自然ふれあい講座(セミのぬけがらを探せ!)は、毎年同じ時期同じ場所でセミの抜け殻を探し、その種類や数を調べることで自然の変化を観察し、地球温暖化など環境の変化について考えてもらうためのものです。

私がこの講座の主担当になって3年目、ようやく全6会場で開催することができ、関係者一同ホッとしているところです。できてよかったというのが正直な感想です。2020年は、コロナ感染症のため年度当初に中止判断をし、2021年は8月1日に飯田会場で実施した夕方、研究所のある長野圏域がレベル4に引き上げられ、「新型コロナウイルス特別警報」が発出されたため、それ以降の5会場は全て中止になりました。今年も7月になって感染者数が急増し、確保病床使用率が50%に迫る中、感染症対策を検討し、対策をしっかりと行いながら実施という判断になりました。毎日が数字との睨めっこで、行動制限が出ないことを祈りつつの実施でした。

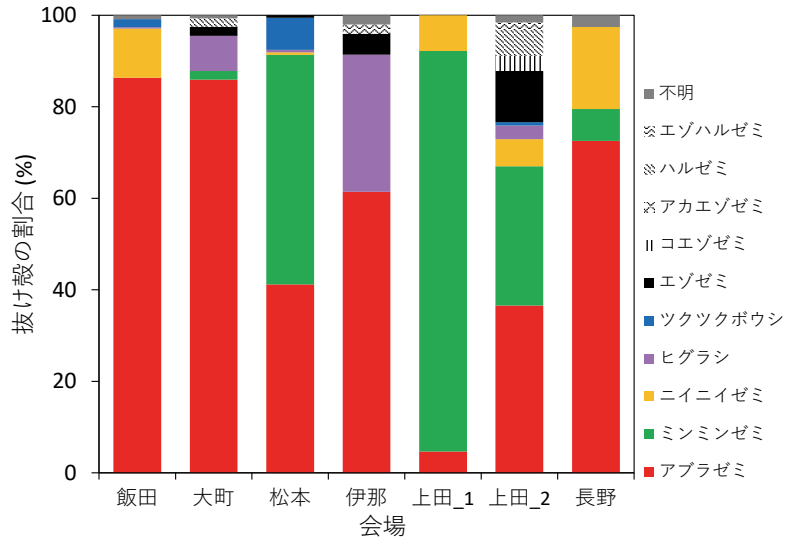


図. 各会場におけるセミの抜け殻の総数(上の数字)と各種の割合。
上田_1は染屋の森、上田_2は市民の森公園を指す。

全6会場で132人(うち、子ども79人)の方に参加していただきました。参加者のアンケートでは、満足が85.7%、おおむね満足が9.9%で大半を占めました。「中止にならず、参加できたこと、ありがたかったです」や「子供と楽しみながら、自然環境調査にも参加出来たことが素晴らしい体験でした。来年もぜひ参加したいです」など、多数のご意見や感想がありました。皆様からのご意見等については、研究所のHPに掲載しています。ぜひご覧ください。



写真1. 家族で集めてきたセミの抜け殻を分類(松本会場)

今年、コロナ感染症対策として、あるスタッフが対応する家族を決めて、適切な距離をとりつつ、説明したり、質問に答えたりしました。この方がより丁寧に対応できたのではないかと思います。この方法では、スタッフの力量にあまり差があってはいけないので、スタッフの事前の勉強、説明するマニュアルやサンプルとなる抜け殻の充実が必要です。

今年のもう一つ変更したことがありました。これまで上田は染屋の森を会場としていましたが、抜け殻を集める場所と分類する場所が離れていること、年によって抜け殻が少なく子どもによっては抜け殻を数個しか

採集できないこ

となどから、子どもたちがより楽しめる場所に変更することを

関係者の方と相談しました。その結果、昨年夏の事前調査で、

抜け殻の数も種類も多い市民の森公園に変更しました。今年の

結果を見ても良かったかなと思います。この講座は、気候変動

など環境変動とセミの抜け殻の種類や数の変化を長期的にモニ

タリングすることも兼ねているため、染屋の森についても今後

もモニタリング調査を継続していく予定です。

このイベントは来年以降も継続していく予定です。興味のある子どもさんやご家族のかたはぜひご参加ください。

(堀田 昌伸/自然環境部)



写真2. 家族ごとにセミの抜け殻探し(上田会場)

